

リスク許容度診断シート

このシートでは、運用に対する考え方や運用期間、投資経験など8つの質問により、あなたのリスク許容度をチェックいたします。全ての質問にお答えいただき、点数を合計してください。

Q1 60歳になられるまでの期間はどれくらいですか？

- 20年以上…………… 6点
 - 10年以上20年未満…………… 4点
 - 3年以上10年未満…………… 2点
 - 3年未満…………… 0点
- 点

Q2 現在の金融資産残高はどれくらいですか？

- 1,000万円以上…………… 6点
 - 500万円以上1,000万円未満…………… 4点
 - 100万円以上500万円未満…………… 2点
 - 100万円未満…………… 0点
- 点

Q3 確定拠出年金があなたの老後資金に占める割合はどれくらいですか？

- 25%未満…………… 6点
 - 25～50%…………… 4点
 - 50～75%…………… 2点
 - 75%以上…………… 0点
- 点

Q4 現在の年収(税込み)はどれくらいですか？(共稼ぎの場合は夫婦合算)

- 800万円以上…………… 6点
 - 600万円以上800万円未満…………… 4点
 - 400万円以上600万円未満…………… 2点
 - 400万円未満…………… 0点
- 点

Q5 資産運用もしくは金融商品についてのどの程度興味がありますか？

- 資産運用に関する書籍や専門誌をよく読んでいる…………… 5点
 - マネー雑誌をよく読んでいる…………… 4点
 - 新聞や雑誌のマネー記事にとときとき目を通す程度…………… 3点
 - 積極的な情報収集などはしていないが興味はある…………… 2点
 - 全く興味はない…………… 1点
- 点

Q6 これまでに株式や投資信託へ投資したことがありますか？

- 投資したことがあるし、これからもリスクのある投資を続けたい…………… 6点
- 投資したことはあるが、リスクのある投資にはまだなじめない…………… 4点
- 投資したことはないが、これからはある程度リスクのある投資もしたい…………… 2点
- 投資したこともないし、これからもリスクのある投資には気が進まない…………… 0点

 点

Q7 元本が確保されない可能性のある金融商品(リスクのある金融商品)に対する考え方に最も近いものはどれですか？

- リスクのある金融商品も積極的に活用したい…………… 6点
- リスクのある金融商品もある程度は組入れたい…………… 4点
- 少しならリスクのある金融商品を利用してもよい…………… 2点
- 元本が確保されない可能性がある金融商品は極力利用したくない…………… 0点
- 元本が確保されている金融商品のみで運用したい……………スタイル1へ

 点

Q8 株式投資に対する考え方に最も近いものはどれですか？

- 投資額の50%以上を投資してもよい…………… 6点
- 投資額の25～50%なら投資してもよい…………… 4点
- 投資額の25%未満なら投資してもよい…………… 2点
- 投資したくない…………… 0点

 点

あなたの合計点は？ 点

あなたが選んだ回答の点数を合計してください。
その合計点からあなたの運用スタイルがわかります。

診断結果は次ページ

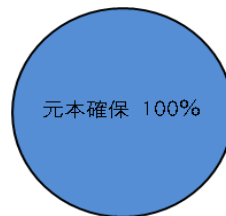
あなたの運用スタイルは

「リスク許容度診断シート」での合計点に基づいた運用スタイルとそれに合った資産配分を例示しています。資産配分を決める際の参考としてお役立てください。

Q7で「元本が確保されている金融商品のみで運用したい」を選択された方

スタイル1 元本確保型

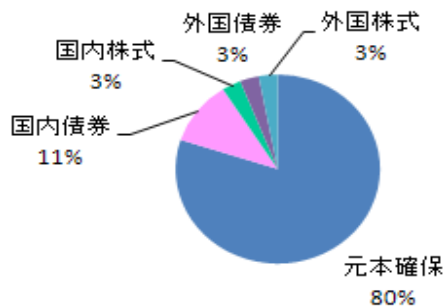
すべての運用資産を元本確保型で運用するスタイルです。高い運用利回りは望めませんが、給付を間近に控えて資産残高を維持したい方や、運用リスクを取りたくない方に適しています。



合計0～9点

スタイル2 元本重視型

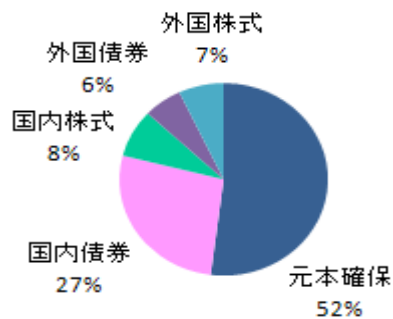
運用資産の大半を元本確保型で運用するスタイルです。高い運用利回りの実現よりも、運用資産の元本を確保することを優先します。運用期間の短い方や、運用リスクを取ることに抵抗が大きい方に適しています。



合計10～18点

スタイル3 堅実型

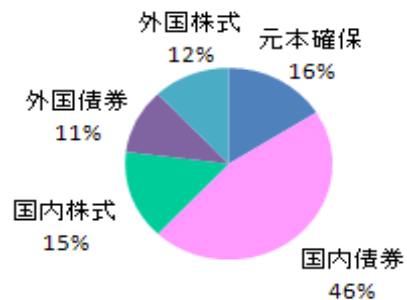
比較的低リスクの商品に運用資産を多く配分することにより、資産をゆっくりと着実に殖やしていくことを目指すスタイルです。価格変動リスクを抑えたい方に適しています。



合計19～27点

スタイル4 安定運用型

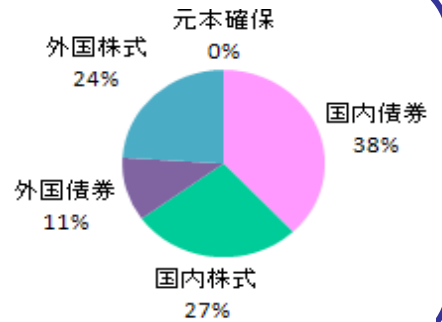
元本確保型商品、債券、株式など複数の商品にバランスよく配分し、中長期的に十分な運用利回りを実現することを目指すスタイルです。ある程度運用期間のある方、価格変動リスクを多少許容できる方に適しています。



合計28～36点

スタイル5 安定成長型

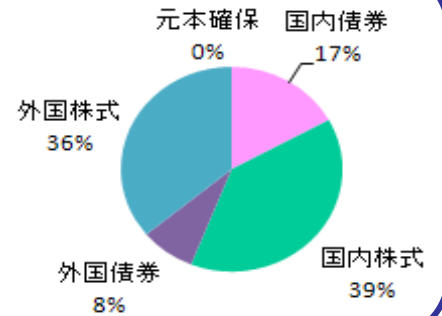
株式など比較的风险の高い商品への配分比率を大きくすることにより、中長期的な運用資産の成長を重視して運用するスタイルです。運用期間の長い方や、価格変動リスクを許容できる方に適しています。



合計37～47点

スタイル6 成長重視型

株式や外貨建て資産など比較的风险の高い商品への配分比率を大きくし、より高い運用利回りを追求していくスタイルです。長期運用を考えている方や収益性を最も重視している方に適しています。

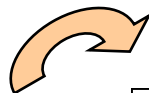


※ これらの運用スタイルは、あくまでも資産の組み合わせ例として提示しているものです。最終的な運用商品の選択につきましては、ご自身で判断されるようお願いします。

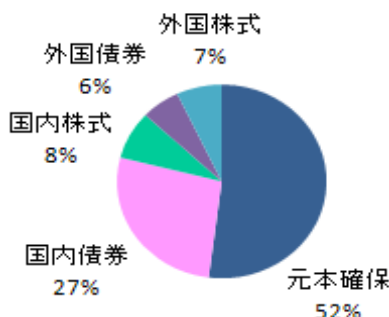
運用商品を決めましょう！

上記のスタイルを参考にしてどのような商品をどのような割合で組み合わせるかを検討してみましょう。投資信託については、ご自身のスタイルに近い資産配分となっているバランス型を選択するという方法もあります。

スタイル3の場合



商品ラインアップ例



元本確保型商品		〇〇〇保険商品
		□□□定期預金
投資信託	国内債券型	△△△国内債券ファンド
	国内株式型	〇〇〇国内株式ファンド
		□□□国内株式ファンド
	外国債券型	△△△外国債券ファンド
	外国株式型	〇〇〇外国株式ファンド
バランス型	☆☆☆ライフプランファンド(20・50・70)	